

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
教育心理学 Educational Psychology		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	福屋 いずみ	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

**○コアカリキュラム：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程**

全体目標：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。

(1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程  
 一般目標：幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。  
 到達目標：1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達概念及び教育における発達理解の意義を理解している。  
 2) 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。

(2) 幼児、児童及び生徒の学習の過程  
 一般目標：幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的な知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。  
 1) 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。  
 2) 主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。  
 3) 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。

【全体目標及び概要】	
心理学の中でも教育分野に関連する内容を学ぶ。 学習・記憶・発達など教育に関連する基本的な内容を学習する。 学校内の様々事象・問題を心理学的視点から考える。	
【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 教育心理学の理論および基礎知識について説明できる。 1) 児童期の発達特徴と課題を説明できる	(1)-1)、2)
2) 記憶のメカニズムについて説明できる	(1)-2)
3) 学習理論について説明できる	(1)-2)
(2) 教育場面での応用、実践的な対応方法、評価方法について、説明できる。 1) 学習法の特徴を説明できる	(2)-1)
2) 学習法の長短を把握し、授業での応用方法を理解する	(2)-1)、2)
3) 教育評価の方法を把握し、実践する力を見につける	(2)-2)
4) 教育に関連する基本的な統計の手法を習得する	(2)-3)
(3) 現代社会における教育上の問題について心理学的観点から理解し説明できる 1) 不登校・いじめの現状と課題について説明できる	(1)-2)、(2)-2)

2) チーム学校の趣旨を理解し、他専門家との連携の理解する			(1)-2)、(2)-2)
3) 児童の心理的サポートの方法について説明できる			(2)-3)
回数	教育心理学 授業内容 【福屋いずみ】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	教育心理学とは何か概要を知る	(1)-1	(1)-1)、2)
2	教育心理学の歴史を理解する	(1)-1、(1)-3	(1)-1)、2)
3	学習理論について理解する	(1)-1、(1)-3	(1)-1)、2)
4	動機づけの種類と重要性を理解する	(1)-3	(1)-2)
5	教育と発達（レディネス）について理解する	(1)-3	(1)-2)
6	学習方法について学ぶ	(2)-1、(2)-2、 (1)-3	(1)-2) (2)-1)、2)
7	記憶のメカニズムについて学ぶ	(1)-1、(1)-2	(1)-1)、2)
8	教師・児童関係の重要性を理解する	(2)-2、(3)-3	(2)-1)、2)、3)
9	学童期の発達特徴と課題を学ぶ	(1)-1、(3)-3	(1)-1)、2) (2)-3)
10	児童の評価方法を学ぶ	(2)-3、(2)-4	(2)-2)、3)
11	基本的な統計法を学び評価を实践する	(2)-3、(2)-4	(2)-2)、3)
12	教育現場でのカウンセリング的かわりについて学ぶ	(3)-1、(3)-2	(1)-2)、(2)-2)
13	学校で起こる様々な問題（不登校・いじめ）について学ぶ	(3)-1、(3)-2	(1)-2)、(2)-2)
14	学校で起こる様々な問題（非行・その他）について学ぶ	(3)-1、(3)-2	(1)-2)、(2)-2)
15	特別な支援が必要な児童への対応を学ぶ	(3)-2、(3)-3	(1)-2)、 (2)-2)、3)
定期試験	実施する		
成績評価方法	授業への取り組み・講義中の発表（関心・意欲・態度・表現力）50% 筆記試験（知識・理解・思考力・判断力）50%		
テキストおよび参考文献	『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）東洋館出版 『教育心理学』山口短期大学		
メッセージなど	教育や子どもちの抱える問題を心理学的視点から眺め、把握する力を身につけ理解を深めていきましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 児童期の発達特徴と課題を説明できる	児童期の発達の特徴と課題を十分に説明することができる。	児童期の発達の特徴と課題を概ね説明することができる。	児童期の発達の特徴と課題について最低限の説明ができる。	児童期の発達の特徴と課題を説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見をもち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見をもち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(1)-2) 記憶のメカニズムについて説明できる	記憶のメカニズムを十分に説明することができる。	記憶のメカニズムを概ね説明することができる。	記憶のメカニズムについて最低限の説明ができる。	記憶のメカニズムを説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見をもち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見をもち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(1)-3) 学習理論について説明できる	学習理論を十分に説明することができる。	学習理論を概ね説明することができる。	学習理論について最低限の説明ができる。	学習理論を説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見をもち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見をもち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(2)-1) 学習法の特徴を説明できる	学習法の特徴を十分に説明することができる。	学習法の特徴を概ね説明することができる。	学習法の特徴について最低限の説明ができる。	学習法の特徴を説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見をもち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見をもち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(2)-2) 学習法の長短を把握し、授業での応用方法を理解する	学習法の長短を十分に理解し、授業での応用の方法を心理学的に説明することができる。	学習法の長短を概ね理解し、授業での応用の方法を心理学的に説明することができる。	学習法の長短を概ね理解し、授業での応用の方法を説明することができる。	学習法の長短を把握できず、授業での応用の方法を説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見をもち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見をもち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(2)-3) 教育評価の方法を把握し、実践する力を見につける	教育評価の方法を十分に把握し、評価することができる。	教育評価の方法を概ね把握し、評価することができる。	教育評価の方法に最低限必要な知識を有し、評価することができる。	教育評価の方法を理解できず、評価できない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見を持ち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見を持ち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(2)-4) 教育に関連する基本的な統計の手法を習得する	教育に関連する基本的な統計の手法を十分に理解し、使うことができる。	教育に関連する基本的な統計の手法を概ね理解し、使うことができる。	教育に関連する基本的な統計の手法に最低限必要な知識を有し、使うことができる。	教育に関連する基本的な統計の手法を理解できず、使うことができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見を持ち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見を持ち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(3)-1) 不登校・いじめの現状と課題について説明できる	不登校・いじめの現状と課題について十分に説明することができる。	不登校・いじめの現状と課題について概ね説明することができる。	不登校・いじめの現状と課題について最低限の説明ができる。	不登校・いじめの現状と課題について説明できない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見を持ち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見を持ち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(3)-2) チーム学校の趣旨を理解し、他専門家との連携の理解する	チーム学校の趣旨を十分に理解し、他専門家との連携を想定した教育について理解することができる。	チーム学校の趣旨を概ね理解し、他専門家との連携を想定した教育についても概ね理解することができる。	チーム学校について最低限の趣旨を理解し、他専門家との連携を想定した教育について概ね理解することができる。	チーム学校の趣旨を理解できず、他専門家との連携を想定した教育について理解できない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見を持ち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見を持ち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%
(3)-3) 児童の心理的サポートの方法について説明できる	児童の心理的サポートの方法について十分に理解し、説明することができる。	児童の心理的サポートの方法について概ね理解し、説明することができる。	児童の心理的サポートの方法について最低限の知識を有し、説明することができる。	児童の心理的サポートの方法について理解できず、説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	5%
	また内容について、自分の意見を持ち、それを十分に表現することができる。	また内容について、自分の意見を持ち、それを概ね表現することができる。	また内容について、自分の意見をもっているが、表現が不十分である。	また内容について、自分の意見をもてず、表現できない。	毎時の課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	5%